

# 海軍公報

第二千三百六十八號

海軍大臣官房

昭和十年一月十八日(金)

## ○雜款

○旗艦變更  
横須賀警備戰隊司令官ハ一昨十六日旗艦ヲ比叡ヨリ那珂ニ變更セリ

○事務所移轉  
第三十潜水隊事務所ハ本月十四日佐世保海軍工廠内艦裝員事務所ニ移轉セリ

海軍公報 第二千三百六十八號 昭和十年一月十八日

四一

1788

○艦船所在

▲印(ハハホ)  
指定ヲ要セズ

○一月十八日午前十時調

【横須賀】

日進▲、陸奥、夕張、金剛、木曾、春日、  
山口城、五十鈴、▷多摩▲、▷鳳翔、口鳥海、  
摩耶、高雄、愛宕、神威、▷那珂、比叡、

▷八雲、淺間

矢風、澤風、口松風、春風、旗風、朝風、

口響、雷、電、口漣、曉、狹霧

口伊五、伊四

富士▲、尻矢、大和

(鈴谷)

【長浦】▷嚴島

口潮、朧、曙、口秋風、帆風、羽風、太刀風、

口朝霧、天霧、夕霧

呂五四、呂五五、呂五六、口呂五九、

呂五七、呂五八、口伊二三、伊二四、

口伊三、伊一、伊二

口掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五

【館山】▷赤城

椿、口沖風、峯風

【大湊】▷沼風、神風、野風、波風

大泊

【吳】長門、矢矧、淀、韓崎、日向▲、加古、大鯨、

勝力、大井、▷伊勢、扶桑、龍驤、▷青葉、  
古鷹、衣笠、▷神通、長鯨、▷天龍、白鷹、  
谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、▷夕顔、  
菊、葵、▷初雪、白雪、▷綾波、敷波、  
浦波、▷東雲、吹雪、磯波、▷白雲、叢雲、  
薄雲

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、

呂五三、▷呂二八、呂二七、▷呂六三、

呂六四、呂六八、▷伊二二、伊二一、

▷伊五七、伊五六、伊五八、▷伊五二、

伊五一、▷伊五四、伊五三、伊五五、

伊六八

掃七、掃八、掃九、掃一〇、▷掃一三、

掃一四、掃一五、掃一六

石廊、攝津、問宮、朝日

(最上)、(呂三三)

【神戸】(有明)、(伊六)、(伊六九)、(伊七一)

【江田内】平戸

【徳山】青島

【舞鶴】吾妻▲、川内、鬼怒

▷若竹、吳竹、早苗▲

呂二六

友鶴

(夕暮)

【佐世保】加賀▲、妙高、那智、足柄、羽黒、磐手、

迅鯨、霧島、八重山、榛名、長良、名取、  
 阿武隈、由良、能登呂、北上、常磐  
 梨、竹、榊、桃、柳、櫻、檜、夕月、  
 菊月、望月、三日月、睦月、如月、彌生、  
 卯月、初霜、初春、子日、若葉、長月、  
 水無月、皐月、文月、疾風、追風、朝風、  
 夕風、楡、柿  
 呂二三、呂二四、呂二五、呂二九、  
 呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、  
 呂六一、呂六二、呂六五、呂六六、  
 呂六七、伊六五、伊六六、伊六七、  
 伊六〇、伊六三、伊五九、伊六二、  
 伊六一、伊六四  
 初雁、千鳥、真鶴  
 敷島、早鞆、佐多  
 (伊七〇)  
 (三隈)  
 長崎  
 馬公、沙風、灘風、島風、夕風  
 鎮海、董、菱、葦  
 旅順、薄、藤、葛  
 鷄鳴島、球磨  
 上野、出雲、隅田、伏見、二見、比良、龍田  
 浦風、栗、梅、芙蓉、朝顔、刈萱  
 南京、宇治

蕪湖、堅田  
 九江、保津  
 漢口、安宅、對馬  
 長沙、鳥羽  
 宜昌、勢多  
 重慶、熱海  
 馬尾、蓬  
 廈門、麥  
 汕頭、逆  
 廣東、嵯峨  
 膠州  
 航海中  
 鶴見 (九年十二月二十日羅府發—佐世保へ)  
 隱戶 (七日羅府發—「ホノルル」へ)  
 襟裳 (十二日羅府發—吳へ)  
 鳴戶 (十五日「ホノルル」發—橫須賀へ)  
 野島 (十六日舞鶴發—佐世保へ)  
 知床 (十六日德山發—舞鶴へ)  
 駒橋 (十七日作業地發—橫須賀へ)  
 室戶 (十七日西戶發—橫須賀へ)  
 洲崎 (十八日吳發—德山へ)

(部内限一頁)

海軍公報

第二千三百六十九號

昭和十年一月十九日(土)

海軍大臣官房

○ 辭 令

東京地方裁判所所屬辯護士 角岡 知良  
海軍軍法會議法第八十八條ニ依リ指定ス(海軍大臣)

海軍公報 第二千三百六十九號 昭和十年一月十九日

四五

1791

○艦船所在 ▲印ハ「ハホ」  
指定ヲ要セズ

○一月十九日午前十時調

【横須賀】日進▲陸奥、夕張、金剛、木曾、春日、

山口城、五十鈴、多摩▲鳳翔、口鳥海、

摩耶、高雄、愛宕、神威、那珂、比叡、

駒橋、八雲、淺間

矢風、澤風、松風、春風、旗風、朝風、

響、雷、電、漣、曉、狹霧

伊五、伊四

富士▲、尻矢、大和

(鈴谷)

【長浦】▲巖島

潮、朧、曙、秋風、帆風、羽風、太刀風、

朝霧、天霧、夕霧

呂五四、呂五五、呂五六、呂五九、

呂五七、呂五八、伊二三、伊二四、

伊三、伊一、伊二

掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五

【館山】▲赤城

椿、沖風、峯風

【大湊】▲沼風、神風、野風、波風

大泊

【吳】▲長門、矢矧、淀、韓崎、日向▲、加古、大鯨、

勝力、大井、伊勢、扶桑、龍驤、青葉、

古鷹、衣笠、神通、長鯨、天龍、白鷹

谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、夕顔、

菊、葵、初雪、白雪、綾波、敷波、

浦波、東雲、吹雪、磯波、白雲、叢雲、

薄雲

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、

呂五三、呂二八、呂二七、呂六三、

呂六四、呂六八、伊二三、伊二一、

伊五七、伊五六、伊五八、伊五二、

伊五一、伊五四、伊五三、伊五五、

伊六八

掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一三、

掃一四、掃一五、掃一六

石廊、攝津、問宮、朝日

(最上)、(呂三三)

(有明)、(伊六)、(伊六九)、(伊七二)

【神戸】▲平戸

青島、洲崎

【徳山】▲吾妻▲、川内、鬼怒

【舞鶴】▲若竹、吳竹、早苗▲

呂二六

友鶴

(夕暮)

【佐世保】▲加賀▲、妙高、那智、足柄、羽黒、磐手、

迅鯨、霧島、八重山、榛名、長良、名取、  
 △阿武隈、能登呂、△北上、△常磐  
 梨、竹、榧、桃、柳、櫻、檜、△夕月、  
 菊月、望月、三月月、△睦月、如月、彌生、  
 卯月、△初霜、初春、子日、若葉、△長月、  
 水無月、皁月、文月、△疾風、追風、朝風、  
 夕風、△楡、柿  
 呂三三、呂二四、呂三五、呂二九、  
 呂三〇、呂三一、呂三二、△呂六〇、  
 呂六一、呂六二、△呂六五、呂六六、  
 呂六七、△伊六五、伊六六、伊六七、  
 △初雁、千鳥、真鶴  
 敷島△早鞆、佐多  
 (伊七〇)  
 【長崎】(三隈)  
 【馬公】△沙風、灘風、島風、夕風  
 【鎮海】△董、菱、葦  
 【旅順】△萩、薄、藤△、葛△  
 【上海】△出雲、隅田、伏見、二見、比良、△龍田  
 浦風、栗、梅、△芙蓉、朝顔、刈萱  
 【南京】宇治  
 【燕湖】堅田  
 【九江】保津  
 【漢口】對馬  
 【長沙】鳥羽

【宜昌】勢多  
 【重慶】熱海  
 【馬尾】蓬  
 【廈門】蓼  
 【汕頭】△速  
 【廣東】嵯峨  
 【作業地】膠州  
 【航海中】  
 鶴見 (九年十二月二十日羅府發—佐世保へ)  
 隱戶 (七日羅府發「ホノルル」へ)  
 襟裳 (十二日羅府發—吳へ)  
 鳴戸 (十五日「ホノルル」發—横須賀へ)  
 野島 (十六日舞鶴發—佐世保へ)  
 知床 (十六日徳山發—舞鶴へ)  
 室戸 (十七日西戸嶺發—横須賀へ)  
 △由良、△伊六〇、伊五九、伊六三、△伊六二、  
 伊六一、伊六四 (十八日佐世保發—横須賀へ)  
 球磨 (十九日鷗島發—旅順へ)  
 △安宅 (十九日漢口發—大冶へ)

(部内限一頁)

1793

# 海軍公報

第二千三百七十號

昭和十年一月二十一日(月)  
海軍大臣官房

## ○雜款

○旗艦指定  
吳防備戰隊司令官六昨二十日ヨリ二十五日迄旗艦ヲ白鷹ニ指定ス

豫備役海軍少將從四位勳三等功五級角田俊雄本月十七日卒去、明二十二日午後二時ヨリ同三時迄神奈川縣逗子町山ノ根二三二自宅ニ於テ佛式ニ依リ告別式執行

海軍中佐從五位勳四等橋雄次一昨十九日卒去、明二十二日午後一時三十分新舞鶴町日宗寺ニ於テ海軍葬儀執行

海軍公報 第二千三百七十號 昭和十年一月二十一日

○艦船所在

▲印(ハ)ホレ  
指定ヲ要セズ

○二月二十一日午前十時調

【横須賀】

日進▲陸奥、夕張、金剛、木曾、春日、

山口城、五十鈴、多摩▲、鳳翔、口鳥海、

摩耶、高雄、愛宕、赤城、神威、那珂、

比叡、駒橋、八雲、淺間

矢風、澤風、松風、春風、旗風、響、

雷、電、漣、曉、狹霧、沖風、峯風

伊五、伊四

富士▲、尻矢、大和、室戸

(鈴谷)

【長浦】

殿島

潮、朧、曙、秋風、帆風、羽風、太刀風、

朝霧、天霧、夕霧

呂五四、呂五五、呂五六、呂五九、

呂五七、呂五八、伊二三、伊二四、

伊三、伊一、伊二

掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五

館山

碓風、神風、野風、波風

天

大泊

吳

長門、矢矧、淀、韓崎、日向▲、加古、大鯨、

勝力、大井、伊勢、扶桑、龍驤、青葉、

古鷹、衣笠、神通、天龍

谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、夕顔、

菊、葵、初雪、白雪、綾波、敷波、

浦波、東雲、吹雪、磯波、白雲、叢雲、

薄雲、朝風

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、

呂五三、呂二八、呂二七、呂六三、

呂六四、呂六八、伊二三、伊二一、

伊五七、伊五六、伊五八、伊五二、

伊五一、伊六八

掃七、掃八、掃九、掃一〇

石廊、攝津、間宮、朝日

(最上)、(呂三三)

神戶

(有明)、(伊六)、(伊六九)、(伊七一)

江田内

平戸

德山

洲崎

舞鶴

吾妻▲、川内、鬼怒

若竹、吳竹、早苗▲

呂二六

友鶴

知床

佐世保

(夕暮)

加賀▲、妙高、那智、足柄、羽黒、磐手、

迅鯨、霧島、八重山、榛名、長良、名取、

阿武隈、能登呂、北上、常磐

海軍公報 第二千三百七十號 昭和十年一月二十一日





# 海軍公報

第二千三百七十一號

昭和十年一月二十二日(火)

## 海軍大臣官房

### ○通牒

官房第二三八號ノ五

昭和十年一月二十一日

海軍省 副官

各廳長殿

侍從武官被差遣ノ件通牒

今般佐世保鎮守府海軍志願兵徵募狀況實視ノ爲侍從武官田光萬兵衛ヲ同徵募區へ被差遣候趣侍從武官長ヨリ通牒有之候

追テ同官ハ一月二十三日東京發德島、高知、長崎ノ三縣下ニ於ケル徵募狀況實視二月四日歸京ノ豫定

水第五〇一二號

昭和十年一月十八日

水路部

各廳御中

印刷依託ニ關スル件通知

本年度豫算ヲ以テ支辨セラルベキ印刷依託ノ受理ハ左記ノ外來二月十日當部着ノ分ヲ以テ打切リト致候條御了承相成度

追テ其ノ後到着ノ分ハ明年度豫算ヲ以テ整理差支ナキモノニ限リ受理致候

記

滿洲事件關係等特殊ノモノニシテ今年度豫算ヲ以テ支辨ヲ要スルモノハ協議ノ上受否ヲ決定ス

### ○辭令

稻葉 愿

横須賀海軍建築部ニ於ケル土木業務囑託ヲ解ク(號第111號) (海軍省)

海軍大佐 一ノ瀬 英太

海軍省人事局ニ於ケル在郷軍人ノ福利ニ關スル事務ヲ囑託ス

海軍整備特務大尉 山下 源二郎

横須賀海軍軍需部ニ於ケル兵器修理關係業務ヲ囑託  
シ報酬月額六拾五圓ヲ給ス(以上二十二年同)

○ 雜 款

○ 旗艦變更  
第一航空戰隊司令官ハ鳳翔ヨリ龍驤ニ、第六戰隊司令  
官ハ衣笠ヨリ青葉ニ昨二十一日旗艦ヲ孰モ變更セリ

○ 米國特務艦ゴールド、スター來航豫定

地名	着	發
横濱	二月二日	二月六日
横濱	三月二十七日	四月一日

○ 郵便物發送先  
軍艦勝力宛  
一月二十七日迄ニ到達見込ノモノハ 大分縣佐伯  
其ノ後ハ 吳

○艦船所在

▲印ハ「ハ」ホ  
指定ヲ要セズ

○一月二十二日午前十時調

【横須賀】日進▲陸奥、夕張、金剛、木曾、春日、

山口城、五十鈴、▷多摩、口島海、摩耶、

愛宕、▷赤城、神威、▷那珂、比叡、駒橋、

▷八雲、淺間

矢風、澤風、▷響、雷、電、▷漣、曉、

狹霧、▷沖風、峯風

▷伊五、伊四

富士▲、尻矢、大和、室戸

(鈴谷)

【長浦】▲嚴島

▷潮、朧、曙、▷秋風、帆風、羽風、太刀風、

▷朝霧、天霧、夕霧

呂五四、呂五五、呂五六、▷呂五九、

呂五七、呂五八、▷伊二三、伊二四、

▷伊三、伊一、伊二

▷掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五

【箱山】▷鳳翔、高雄

椿、▷松風、春風、旗風

▷沼風、神風、野風、波風

▷大泊

【吳】▷長門、矢矧、淀、韓崎、日向▲、加古、大井、

▷伊勢、扶桑、▷神通

谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、▷夕顔、

菊、葵、▷初雪、白雪、▷綾波、敷波、

浦波、▷東雲、吹雪、磯波

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、

呂五三、▷呂二八、呂二七、▷呂六三、

呂六四、呂六八、▷伊二三、伊二一、

▷伊五七、伊五六、伊五八、▷伊五二、

伊五一、伊六八

掃七、掃八、掃九、掃一〇

石廊、攝津、間宮

(最上)、(呂三三)

【神戸】(有明)、(伊六)、(伊六九)、(伊七一)

平戸

【江田内】大鯨、▷青葉、古鷹、衣笠

【廣島灣】洲崎

【安下庄】▷天龍

▷白雲、叢雲、薄雲

【米水津】▷白鷹

▷掃一三、掃一四、掃一五、掃一六

【舞鶴】吾妻▲、川内、鬼怒

▷若竹、吳竹、早苗▲

呂二六

友鶴

知床

海軍公報 第二千三百七十一號 昭和十年一月二十二日

【佐世保】(夕暮) 加賀▲、妙高、那智、足柄、羽黒、磐手、迅鯨、霧島、榛名、▷長良、名取、能登呂、梨、竹、榎、桃、柳、榎、檜、▷夕月、菊月、望月、三日月、▷睦月、如月、彌生、卯月、▷榆、柿

呂二三、 呂二四、 呂二五、 呂二九、  
呂三〇、 呂三一、 呂三二、 呂六〇、  
呂六一、 呂六二、 伊六五、 伊六六、  
伊六七

敷島▲、早鞆、佐多  
(伊七〇)

【寺島水道】▷北上、▷常磐、八重山  
▷呂六五、 呂六六、 呂六七  
▷初雁、千鳥、真鶴

【長崎】(三隈)  
【馬公】▷沙風、灘風、島風、夕風  
【鎮海】▷菫、菱、葦  
【旅順】▷萩、薄、藤▲、葛▲  
【秦皇島】球磨  
【上海】▷出雲、隅田、伏見、二見、比良、▷龍田、浦風、栗、梅、▷芙蓉、朝顔、刈萱

【南京】宇治  
【燕湖】堅田  
【九江】保津

【漢口】對馬  
【長沙】鳥羽  
【宜昌】勢多  
【重慶】熱海  
【馬尾】蓬  
【廈門】蓬  
【汕頭】▷蓮  
【廣東】嵯峨  
【ホノルル】隱戸  
【作業地】膠州

【航海中】  
鶴見 (九年十二月二十日羅府發—佐世保へ)  
襟裳 (十二日羅府發—吳へ)  
鳴戸 (十五日ホノルル發—横須賀へ)  
由良、▷伊六〇、 伊五九、 伊六三、 ▷伊六二、  
伊六一、 伊六四 (十八日佐世保發—横須賀へ)  
長鯨、▷伊五四、 伊五三、 伊五五 (十九日吳發—横須賀へ)

青島 (二十日徳山發—横須賀へ)  
龍驤、朝風 (二十一日吳發—寺島水道へ)  
勝利 (二十一日吳發—豊後水道へ)  
朝日 (二十一日吳發—新湊へ)  
野島 (二十一日佐世保發—上海へ)  
▷安宅 (二十二日大治發—漢口へ)  
▷阿武隈、▷初霜、初春、子日、若葉、▷長月、水無月、  
阜月、文月、▷疾風、追風、朝風、夕風 (二十二日佐世保發—寺島水道へ)

(部内限三頁)

# 海軍公報

第二千三百七十二號

昭和十年一月二十三日(水)

海軍大臣官房

## ○雜款

豫備役海軍少佐正六位勳四等朝倉榮松一昨二十一日死去、本二十三日正午ヨリ午後二時迄神奈川県藤澤町羽鳥一二六五自宅ニ於テ佛式ニ依リ告別式執行

豫備役海軍少佐正六位勳四等山田義一昨二十一日死去、本二十三日静岡縣小笠郡河城村水加自宅ニ於テ神式ニ依リ葬儀執行

後備役海軍主計少佐正六位勳四等相宗史本月二十日死去、本二十三日午後二時ヨリ同三時迄神奈川県藤澤町石上二一八五自宅ニ於テ佛式ニ依リ告別式執行

海軍公報 第二千三百七十二號 昭和十年一月二十三日

○艦船所在

▲印ハ、ハホレノ  
指定ヲ要セズ

○一月二十三日午前十時調

【横須賀】

日進▲陸奥、夕張、金剛、木曾、春日、  
山城、五十鈴、▷多摩、□鳥海、高雄、  
摩耶、愛宕、▷赤城、神威、▷那珂、比叡、  
駒橋、▷八雲、淺間

矢風、澤風、□響、雷、電、□漣、曉、  
狭霧、□沖風、峯風

伊五、伊四  
富士▲、尻矢、大和、青島

【長浦】

嚴島

□潮、臙、曙、□秋風、帆風、羽風、太刀風、  
□朝霧、天霧、夕霧

呂五四、呂五五、呂五六、□呂五九、  
呂五七、呂五八、□伊二三、伊二四、  
□伊三、伊一、伊二  
□掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五

【館山】

椿、□松風、春風、旗風

【大湊】

沼風、神風、野風、波風  
大泊

【吳】

長門、矢矧、淀、韓崎、日向▲、加古、大井、  
大鯨、▷伊勢、扶桑、▷神通

岩谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、□夕顔、  
菊、葵、□初雪、白雪

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、  
呂五三、□呂二八、呂二七、□呂六三、  
呂六四、呂六八、□伊二三、伊二一、  
伊五七、伊五六、伊五八、□伊五二、  
伊五一、伊六八

掃七、掃八、掃九、掃一〇  
石廊、攝津、間宮

(最上)、(呂三三)

【神戸】(有明)、(伊六)、(伊六九)、(伊七一)

【江田内】平戸

【廣島灣】青葉、古鷹

□綾波、敷波、浦波

【廣】洲崎

【安下庄】天龍

薄雲

【舞鶴】吾妻▲、川内、鬼怒

若竹、吳竹、早苗▲  
呂二六  
友鶴  
知床  
(夕暮)  
加賀▲、妙高、那智、足柄、羽黒、磐手、  
迅鯨、霧島、榛名、▷長良、名取、能登呂

海軍公報 第二千三百七十二號 昭和十年一月二十三日

五九

梨、竹、榿、桃、柳、檉、枳、  
 菊月、望月、三月月、  
 卯月、  
 呂三三、呂三四、呂三五、呂二九、  
 呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、  
 呂六一、呂六二、伊六五、伊六六、  
 伊六七  
 敷島▲早朝、佐多  
 (伊七〇)  
 【寺島水道】  
 北上、  
 常磐、八重山、  
 龍驤、  
 阿武隈  
 初霜、初春、子日、若葉、  
 長月、水無月、  
 臯月、文月、  
 疾風、追風、朝風、夕風、  
 朝風  
 呂六五、呂六六、呂六七  
 初雁、千鳥、真鶴  
 (三隈)  
 【馬公】  
 沙風、灘風、島風、夕風  
 【鎮海】  
 董、菱、葦  
 【旅順】  
 萩、薄、藤▲、葛▲  
 【秦皇島】  
 球磨  
 【上海】  
 出雲、隅田、伏見、二見、比良、  
 龍田  
 浦風、栗、梅、  
 芙蓉、朝顔、刈萱  
 【南京】  
 宇治  
 【燕湖】  
 堅田  
 【九江】  
 保津

【漢口】  
 安宅、對馬  
 【長沙】  
 鳥羽  
 【宜昌】  
 勢多  
 【重慶】  
 熱海  
 【馬尾】  
 蓬  
 【廈門】  
 蓬  
 【汕頭】  
 蓬  
 【廣東】  
 嵯峨  
 【作業地】  
 膠州  
 【航海中】  
 鶴見 (九年十二月二十日羅府發—佐世保へ)  
 襟裳 (十二日羅府發—吳へ)  
 鳴戸 (十五日ホノルル發—橫須賀へ)  
 由良、伊六〇、伊五九、伊六三、伊六二、  
 伊六一、伊六四 (十八日佐世保發—橫須賀へ)  
 長鯨、伊五四、伊五三、伊五五 (十九日吳發—  
 橫須賀へ)  
 朝日 (二十一日吳發—新湊へ)  
 野島 (二十一日佐世保發—上海へ)  
 隱戸 (二十一日ホノルル發—橫須賀へ)  
 室戸 (二十二日橫須賀發—大湊へ)  
 鳳翔 (二十三日館山發—東京灣へ)  
 白鷹 (二十三日米水津發—佐伯へ)  
 衣笠 (二十三日廣島灣發—吳へ)  
 東雲 (二十三日吳發—廣島灣へ)  
 白雲 (二十三日安下庄發—吳へ)  
 叢雲 (二十三日安下庄發—吳へ)

(部内限五頁)



# 海軍公報

第二千三百七十三號

昭和十年一月二十四日(木)  
海軍大臣官房

## ○通牒

經庶第一六號  
大正十四年經庶第一〇三號鐵道託送貨物運賃後排ノ件  
中左ノ通改正ス

昭和十年一月十六日

海軍省經理局長

「霞ヶ浦海軍航空隊」ノ項ノ次ニ「霞ヶ浦海軍航空隊友部分遣隊(取扱驛友部)」ヲ、「大村海軍航空隊」ノ項ノ次ニ「館山海軍航空隊(取扱驛安房北條)」、「大湊海軍航空隊(取扱驛大湊)」及「艦(戰)隊司令部(取扱驛各驛)」ノ項ヲ就レモ加フ

(會計法規類集下卷七〇三頁參照)

## ○辭令

海軍中佐 富澤 不二彦

恩賜研學資金受賞者銓衡委員ヲ命ス

海軍軍事普及部委員ヲ命ス(以上二十日海軍省)  
海軍少佐 堀江 朝茂

○艦船所在

▲印ハニハホレ  
指定ヲ要セズ

○一月二十四日午前十時調

【横須賀】

日進▲陸奥、夕張、金剛、木曾、春日、

山城、五十鈴、多摩、鳥海、高雄、

摩耶、愛宕、赤城、神威、那珂、比叡、

駒橋、八雲、淺間、由良、長鯨、

矢風、澤風、響、雷、電、漣、曉、

狹霧、沖風、峯風

伊五、伊四、伊五四、伊五三、伊五五、

伊六〇、伊五九、伊六三、伊六二、

伊六一、伊六四

富士▲、尻矢、大和、青島

(鈴谷)

【長浦】▲嚴島

潮、臘、曙、秋風、帆風、羽風、太刀風、

朝霧、天霧、夕霧

呂五四、呂五五、呂五六、呂五九、

呂五七、呂五八、伊二三、伊二四、

伊三、伊一、伊二

掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五

【館山】椿、松風、春風、旗風

【大湊】沼風、神風、野風、波風

大泊

【吳】

長門、矢矧、淀、韓崎、日向▲、加古、大井、

大鯨、伊勢、扶桑、衣笠、神通

谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、夕顔、

菊、葵、初雪、白雪、白雲、叢雲

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、

呂五三、呂二八、呂二七、呂六三、

呂六四、呂六八、伊二三、伊二一、

伊五七、伊五六、伊五八、伊五二、

伊五一、伊六八

掃七、掃八、掃九、掃一〇

石廊、攝津、間宮、朝日

(最上)、(呂三三)

【神戸】(有明)、(伊六)、(伊六九)、(伊七一)

【江田内】平戸

【廣島灣】青葉、古鷹

綾波、敷波、浦波

【廣】洲崎

【佐伯】白鷹、勝力

掃一三、掃一四、掃一五、掃一六

【舞鶴】吾妻▲、川内、鬼怒

若竹、吳竹、早苗▲

友鶴

知床

(夕暮)

【宮津】呂二六

【佐世保】加賀▲、妙高、那智、足柄、羽黒、磐手、  
 迅鯨、霧島、榛名、能登呂  
 梨、竹、榎、桃、柳、櫻、楡、  
 卯月、  
 呂三三、呂三四、呂二五、呂二九、  
 呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、  
 呂六一、呂六二、  
 伊六七  
 敷島▲、早鞆、佐多  
 (伊七〇)

【寺島水道】  
 北上、常磐、八重山、龍驤、阿武隈  
 初霜、初春、春日、若葉、水無月、皐月、  
 文月、疾風、追風、朝風、夕風、朝風、  
 楡、柿  
 呂六五、呂六六、呂六七  
 初雁、千鳥、真鶴

【長崎】(三隈)  
 馬公、汐風、灘風、島風、夕風  
 鎮海、董、菱、葦  
 旅順、萩、薄、藤▲、葛▲  
 秦皇島、球磨

【上海】  
 浦風、栗、梅、芙蓉、朝顔、刈萱  
 出雲、隅田、伏見、二見、比良、龍田

【南京】  
 宇治

【蕪湖】堅田  
 【九江】保津  
 【漢口】安宅、對馬  
 【長沙】鳥羽  
 【宜昌】勢多  
 【重慶】熱海  
 【馬尾】蓬  
 【廈門】蓼  
 【汕頭】逆  
 【廣東】嵯峨  
 【作業地】膠州

【航海中】  
 鶴見 (九年十二月二十日羅府發—佐世保へ)  
 襟裳 (十二日羅府發—吳へ)  
 鳴戸 (十五日「ホノルル」發—橫須賀へ)  
 野島 (二十一日佐世保發—上海へ)  
 隠戸 (二十一日「ホノルル」發—橫須賀へ)  
 室戸 (二十二日橫須賀發—大湊へ)  
 鳳翔 (二十三日館山發—東京灣へ)  
 東雲、吹雪、磯波 (二十三日吳發—廣島灣へ)  
 長良、名取 (二十四日佐世保發—寺島水道へ)  
 天龍、薄雲 (二十四日安下庄發—吳へ)

(部内限二頁)

1807

# 海軍公報


第二千三百七十四號

昭和十年一月二十五日(金)

海軍大臣官房

## ○ 雜 款

○司令驅逐艦變更  
第十二驅逐隊司令ハ本月二十二日司令驅逐艦ヲ一時白雲ヨリ薄雲ニ變更セリ

○正誤   
一昨二十三日本欄故海軍少佐朝倉榮松ノ死亡記事中「勳四等」ハ「勳六等」ノ誤

海軍公報 第二千三百七十四號 昭和十年一月二十五日

六五

○艦船所在

▲印ハハカレ  
指定ヲ要セズ

○一月二十五日午前十時調

【横須賀】

日進、陸奥、夕張、金剛、木曾、春日、

山城、五十鈴、多摩、鳳翔、鳥海、

高雄、摩耶、愛宕、赤城、神威、那珂、

比叡、駒橋、八雲、淺間、由良、長鯨、

矢風、澤風、春風、旗風、響、雷、電、

伊五、伊四、伊五四、伊五三、伊五五、

伊六〇、伊五九、伊六三、伊六二、

伊六一、伊六四

富士、尻矢、大和、青島

(鈴谷)

【長浦】

嚴島

潮、朧、曙、秋風、帆風、羽風、太刀風、

朝霧、天霧、夕霧

呂五四、呂五五、呂五六、呂五九、

呂五七、呂五八、伊二三、伊二四、

伊三、伊一、伊二

掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五

【館山】

椿、松風

【大湊】沼風、神風、野風、波風

大泊、室戸

【吳】

長門、矢矧、淀、韓崎、日向、加古、大井、

大鯨、伊勢、扶桑、衣笠、神通、天龍、

谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、夕顔、

菊、葵、初雪、白雪、薄雲、白雲、

叢雲、綾波、敷波、浦波

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、

呂五三、呂二八、呂二七、呂六三、

呂六四、呂六八、伊二三、伊二一、

伊五七、伊五六、伊五八、伊五三、

伊五一、伊六八

掃七、掃八、掃九、掃一〇

石廊、攝津、朝日

(最上)、(呂三三)

(有明)、(伊六)、(伊六九)、(伊七一)

【神戶】

平戸

【江田内】

古鷹

【廣島灣】

洲崎

【德山】

吾妻、川内、鬼怒

若竹、吳竹、早苗

【舞鶴】

友鶴

【佐世保】

(夕暮)

加賀、妙高、那智、足柄、羽黑、磐手、

迅鯨、霧島、阿武隈、能登呂

梨、竹、樞、桃、柳、櫻、檜、夕月、

菊月、望月、三日月、睦月、如月、彌生、

卯月、**△**初霜、初春、子日、若葉、**△**長月、  
 水無月、草月、文月、**△**疾風、追風、朝風、  
 夕風、朝風、**△**楡、**△**柿  
**△**呂二三、**△**呂二四、**△**呂二五、**△**呂二九、  
**△**呂三〇、**△**呂三一、**△**呂三二、**△**呂六〇、  
**△**呂六一、**△**呂六二、**△**伊六五、**△**伊六六、  
 伊六七  
 敷島、**▲**早鞆、佐多、鶴見  
 (伊七〇)  
**【寺島水道】****△**北上、**△**常磐、八重山、**△**長良、名取、  
**△**龍驤  
**△**呂六五、**△**呂六六、**△**呂六七  
**△**初雁、千鳥、真鶴  
**【長崎】**(三隈)  
**【馬公】****△**汐風、灘風、島風、夕風  
**【鎮海】****△**葦、菱、葦  
**【旅順】****△**萩、薄、藤、**▲**葛  
**【秦皇島】**球磨  
**【上海】****△**出雲、隅田、伏見、二見、比良、**△**龍田  
 浦風、栗、梅、**△**芙蓉、朝顔、刈萱  
 野島  
**【南京】**宇治  
**【九江】**保津  
**【漢口】****△**安宅、對馬  
**【長沙】**鳥羽

**【宜昌】**勢多  
**【重慶】**熱海  
**【馬尾】**蓬  
**【厦門】**蓬  
**【汕頭】****△**蓮  
**【廣東】**嵯峨  
**【作業地】**膠州  
**【航海中】**  
 襟裳 (十二日羅府發—吳へ)  
 鳴戸 (十五日「ホノルル」發—横須賀へ)  
 隠戸 (二十一日「ホノルル」發—横須賀へ)  
**△**東雲、吹雪、磯波 (二十三日吳發—廣島灣へ)  
 勝利 (二十四日佐伯發—白杵へ)  
**△**青葉 (二十四日吳發—廣島灣へ)  
 呂二六 (二十四日宮津發)  
 間宮 (二十四日吳發—大連へ)  
 知床 (二十四日舞鶴發—佐世保へ)  
 堅田 (二十五日蕪湖發—南京へ)  
 榛名 (二十五日佐世保發—橋灣へ)  
**△**白鷹、**△**掃一三、掃一四、掃一五、掃一六 (二十  
 五日安下庄發—吳へ)

(附錄四頁、部内限二頁)

# 海軍公報 附録

昭和十年一月二十五日(金)  
海軍大臣官房

## ○ 雜款

### ○ 圖書

去ル十二月中納庫セル圖書左ノ如シ(海軍文庫)

### 和漢書ノ部

Λ〇〇〇 兵 書

戒嚴令詳論 附 武器使用限度論

三浦恵一著 昭和七 東京 松山房

九九五五

〇〇一〇 海 事

昭和九年 海軍事務摘要 逕信省管船局編 昭和九

P 三二六

〇一五〇 鎮守府例規

十二 佐世保鎮守府例規 佐世保鎮守府副官編 昭和九

P 三二六

D〇〇〇 歴 史

世界歴史大系 平凡社編 昭和九 東京 平凡社

九三六

第二十二卷 西洋最近世史 山脇重雄著

世界文化史大系 鈴木良編 昭和九 東京 新光社

九七一九

第十六卷 十九世紀の歐洲諸國 上卷

D一一〇 日本史

日本歴史 (岩波講座) 國史研究會編 昭和九

東京 岩波書店

九三四

近世初期の對外關係

室町時代の工藝

神祇祭祀

古文書

蝦夷集人の願撫

D一二二 日本史—時代史

近世日本國民史 徳富猪一郎(蘇峰)著 昭和九

東京 民友社

九七九三

第四十七卷 文久大勢一變 中篇

D四一〇 日本陸戰史

滿鐵社員健闘録 第二篇 滿鐵社員會編 昭和九

大連 滿鐵社員會

八七〇九

D四二〇 世界大戦陸戰史

歐洲戰爭研究資料 第三十二輯 參謀本部編 昭和九

九四〇三

F一三〇 立 法

第六十六回 帝國議會衆議院報告 衆議院事務局編 昭和九

P 三二七

F二〇〇 法 律

ナチスの法律 杉村掌三郎等著 昭和九

九九六三

海軍公報 附録

第一編 ナチスの公法法規 杉村章三郎著  
 第二編 ナチスの私法 我妻 榮著  
 第三編 ナチスの刑法 木村重二著  
 第四編 ナチスの労働法制 後藤 清著

法律における階級闘争 (同盟罷業権に関する若干の基礎的考察)  
 平野義太郎著 昭和七 東京 改造社 九九六  
 中村秀雄、中西熊三郎共編 昭和四、九 東京 清水書店 九九三

書式總覽  
 第一輯 民事訴訟法、競賣法、人事訴訟手續法  
 第二輯 不動産登記、産業組合登記、外十六項  
 第三輯 戸籍法、寄留法  
 第四輯 戸籍法、寄留法

二三一 判決例  
 刑事訴訟法判例研究 小野清一郎著 昭和九 東京 弘文堂 九九三  
 陸軍高等軍法會議判例集 自大正十一年至昭和三年 大學書房 九九七  
 憲法研究學會編 昭和七 東京 大審院民事判例要旨類纂 行政裁判所編 昭和八 東京 帝國地方行政學會 九九八  
 大審院民事判例要旨類纂 法曹會編 昭和九 東京 財団法人法曹會 九九六〇  
 刑事判例研究 第一卷 草野豹一郎著 昭和九 東京 巖松堂 九九六三  
 二三〇 刑法  
 刑事學の新思潮と新刑法 牧野英一著 昭和六 東京 有斐閣 九九五四  
 行刑上の諸問題 正木亮著 昭和九 東京 有斐閣 九九五九

實際的刑事補償手續 二宮兵一著 昭和八 東京 巖松堂 九九六二  
 刑法における概念の規範的構成 武藤文雄著 昭和九 東京 有斐閣 九九六四  
 刑法に於ける名譽の保護 小野清一郎著 昭和九 東京 有斐閣 九九六五  
 刑法に於ける重點の變遷 牧野英一著 昭和四 東京 有斐閣 九九六七  
 刑法における法治國思想の展開 牧野英一著 昭和六 東京 有斐閣 九九六六  
 罪刑法定主義と犯罪徵表説 牧野英一著 昭和四 東京 有斐閣 九九六九  
 行為の違法不作爲の違法性 黒田誠共著 大正十三 東京 有斐閣 九九七〇  
 最新行刑令釋義 正木亮等共著 昭和九 東京 巖松堂 九九七三  
 第一編 行刑累進處遇令釋義 正木亮著  
 第二編 假釋放審査規定釋義 東邦彦著  
 第三編 少年行刑教育令釋義 岡五郎著

判決總覽 平田健次郎編 昭和七、九 名古屋 判決例調査所 九九七四  
 民法  
 續民法  
 第二續民法 刑事訴訟法  
 續刑事訴訟法  
 第二續刑法  
 續索引 上、中、下巻  
 大審院刑事判例要旨類纂 法曹會編 昭和九 東京 財団法人法曹會 九九七七



F二七〇 法令集

思想取締關係法令總覽 (判例、學說、參照條文、挿入) 柴田義彦著 昭和七 東京 巖松堂 九九七

F二七二 海軍法令 第十九號 松波仁一郎編 昭和九 東京 日本海法會 九九七

G二〇〇 經濟 石山賢吉著 昭和九 東京 ダイヤモンド社 九九九

決算報告の見方 石山賢吉著 昭和九 東京 ダイヤモンド社 九九九

H一一五 鑛産 コセンブリニム原共著 昭和九 東京 福田書房 九九七

石油問題 淡徳三郎共譯 東京 福田書房 九九七

H二二二 國勢ニ關スル統計 澤本徳三編 昭和九 東京 帝國公民教育協會 九九五

市町別 日本國勢總覽 上、中、下卷 澤本徳三編 昭和九 東京 帝國公民教育協會 九九五

第七十 日本帝國統計摘要 内閣統計局編 昭和八 東京 東京統計協會 P 三六九

五年 國勢調査報告 内閣統計局編 昭和九 東京 東京統計協會 P 一九九

愛媛縣

大阪府

福井縣

島根縣

愛知縣

海軍公報 附録

山口縣

H二二三 年鑑・年報

昭和九、日露年鑑 日露通信社編 昭和九 東京 日露通信社 P 二六四

第三十 專賣局年報 (昭和七年度) 專賣局編 昭和九 P 二六六

昭和 日本勞働年鑑 大原社會問題研究所編 昭和十 東京 栗田書店 P 二八二

I一七〇 日本地誌—事情

昭和 臺灣事情 臺灣總督府編 昭和九 P 二六三

I六〇〇 地圖

大東京市地圖 川流堂編 昭和九 東京 川流堂 A 六九二

J二〇〇 理學

昭和 理科年表 東京天文臺編 昭和九 東京 帝國大學 P 二六三

J三一三 土木

日本築港史 廣井勇著 昭和二 東京 丸善株式會社 九九六

J三一四 建築

高等建築學 常磐書房編 昭和九 東京 常磐書房 九九四

第十三卷 計畫原論 共ノ一 渡邊 要著 長倉謙介共著

第十八卷 倉庫 サイロ 柳澤彰著

冷藏庫 山越邦彦著

自動車 山下部東一郎共著 佐藤 鑑共著

格納庫

山越邦彦著

K四一二 社會運動卜闘争

社會運動概説批判取締

橋武人著 昭和八  
東京 松華堂

九五五

M二〇〇 叢書

日本刀講座

第八卷

雄山閣編 昭和九 東京 雄山閣  
新刀鑲定機内(附圖三)  
鍔工及町彫金工四(小道具三)

六三八

日本刀彫刻と  
十文字鎗の研磨法(研磨篇二)

小倉惣右衛門著  
永野才二著

刀剣に関する法規(歴史及説話七)

山縣保二郎著  
鳥越光堂著  
講師共著

M三〇〇 全集

會計學全集

第二十卷

東京 東洋出版社 昭和九  
官廳會計

九七九

M五八〇 遠航紀念寫真帖

昭和八、練習艦隊記念寫真帖  
九年度

昭和八、九年度練習艦隊司令部編 昭和九

A六九二

M六六〇 辭書—法政

法律學辭典

末弘殿太郎 共編 昭和九 東京 岩波書店  
田中耕太郎

九九四

第一卷

アーケ

洋書ノ部

1. ENGLISH BOOK.

(C300. Aeronautic)

U. S. Government Printing Office-Aeronautics.

Nineteenth Annual Report of the National

Advisory Committee for Aeronautics, 1933

(Reports 441-474) Washington, 1934.

8976-8979

# 海軍公報

第二千三百七十五號

昭和十年一月二十六日(土)

海軍大臣官房

## ○雜款

○旗艦變更  
 練習艦隊司令官ハ八雲ヨリ淺間ニ、佐世保防備戰隊司令官ハ一時常磐ヨリ八重山ニ昨二十五日旗艦ヲ孰モ變更セリ

海軍少將從四位勳三等宇野積藏昨二十五日卒去、明後二十八日午前十時海軍砲術學校ニ於テ神式ニ依リ海軍葬儀執行

海軍公報 第二千三百七十五號 昭和十年一月二十六日

○艦船所在

▲印(ハハホ)  
指定ヲ要セズ

○一月二十六日午前十時調

【横須賀】

日進▲、陸奥、夕張、金剛、木曾、春日、  
口山城、五十鈴、▽多摩、鳳翔、口鳥海、  
高雄、摩耶、愛宕、▽赤城、▽那珂、比叡、  
駒橋、▽淺間、八雲

矢風、澤風、春風、旗風、▽響、雷、電、  
▽漣、曉、狹霧、▽沖風、峯風

▽伊五、伊四  
富士▲、尻矢、大和

(鈴谷)

【長浦】

▽嚴島  
▽潮、隴、曙、▽秋風、帆風、羽風、太刀風、  
▽朝霧、天霧、夕霧

▽呂五四、呂五五、呂五六、▽呂五九、  
▽呂五七、▽呂五八、▽伊二三、伊二四、  
▽伊三、伊一、伊二

▽掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五

【館山】

椿、▽松風  
▽沼風、神風、野風、波風

【大湊】

大泊、室戸  
大鯨、▽伊勢、▽青葉、衣笠、▽神通、

【吳】

長門、矢矧、淀、韓崎、日向▲、加古、大井、

▽天龍、白鷹

谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、▽夕顔、  
菊、葵、▽初雪、白雪、▽薄雲、白雲、  
叢雲、▽綾波、敷波、浦波、▽東雲、吹雪、  
磯波

▽呂一七、▽呂一八、▽呂一九、▽呂五一、  
▽呂五三、▽呂二八、▽呂二七、▽呂六三、  
▽呂六四、▽呂六八、▽伊二三、伊二一、

▽伊五七、伊五六、伊五八、▽伊五二、  
伊五一、伊六八

掃七、掃八、掃九、掃一〇、▽掃一三、  
掃一四、掃一五、掃一六

石廊、攝津、朝日

(最上)、(呂三三)

【神戸】

(有明)、(伊六)、(伊六九)、(伊七一)

【江田内】

平戸  
古鷹  
洲崎

【廣島灣】

吾妻▲、川内、鬼怒  
▽若竹、吳竹、早苗▲  
▽呂二六  
友鶴  
(夕暮)

【德山】

加賀▲、妙高、那智、足柄、羽黒▲、磐手、

【佐伯】

勝力

【舞鶴】

友鶴

迅鯨、霧島、常磐、阿武隈、能登呂、梨、竹、樺、桃、柳、檜、檜、  
 菊月、望月、三日月、睦月、如月、彌生、卯月、  
 初霜、初春、子日、若葉、長月、水無月、  
 皁月、文月、疾風、追風、朝風、夕風、  
 朝風、楡、栂、呂三三、呂二四、呂二五、  
 呂二九、呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、  
 呂六一、呂六二、伊六五、伊六六、伊六七、  
 敷島、早鞆、佐多、鶴見 (伊七〇)

【寺島水道】北上、八重山、名取、龍驤  
 呂六五、呂六六、呂六七  
 初雁、千鳥、真鶴

【長崎】(三隈) 榛名  
 【馬公】沙風、灘風、島風、夕風  
 【鎮海】葦、菱、葦  
 【旅順】萩、薄、藤、葛  
 【上海】隅田、伏見、二見、比良  
 浦風、栗、梅  
 【南京】宇治、堅田  
 【九江】保津  
 【漢口】安宅、對馬

【長沙】鳥羽  
 【宜昌】勢多  
 【重慶】熱海  
 【馬尾】蓬  
 【厦門】蓬  
 【汕頭】蓬  
 【廣東】肇  
 【作業地】神威、由良、長鯨  
 伊五四、伊五三、伊五五、伊六〇、  
 伊五九、伊六三、伊六二、伊六一、  
 伊六四 膠州

【航海中】  
 襟裳 (十二日羅府發—吳)  
 鳴戸 (十五日「ホノルル」發—橫須賀)  
 隠戸 (二十一日「ホノルル」發—橫須賀)  
 間宮 (二十四日吳發—大連)  
 知床 (二十四日舞鶴發—佐世保)  
 出雲、芙蓉、朝顔、刈萱 (二十五日上海發—基隆)

龍田 (二十五日上海發—馬尾)  
 球磨 (二十五日秦皇島發—旅順)  
 青島 (二十五日橫須賀發—吳)  
 長良 (二十六日寺島水道發—佐世保)  
 扶桑 (二十六日吳發—佐伯)  
 野島 (二十六日上海發—佐世保)

(部内限二頁)

# 海軍公報

第二千三百七十六號

海軍大臣官房

昭和十年一月二十八日(月)

## ○通牒

官房第三四七號

昭和十年一月二十八日

海軍次官

各廳長殿

國勢調査ニ際シ人口分布ノ常態

激變防止ニ關スル件申進

首題ノ件ニ關シ今般内閣書記官長ヨリ左記ノ通通牒有之候條本通牒ノ趣旨ヲ徹底スル様特ニ御配慮相成度

記

局發第二二號

昭和十年一月十八日

内閣書記官長 吉田 茂

海軍次官 長谷川 清殿

國勢調査ニ際シ人口分布ノ常態激變

防止ニ關スル件

本年ハ昭和五年國勢調査後五年ヲ經過シ簡易ナル國勢調査ヲ行フベキ年ニ該ルヲ以テ今秋十月一日ヲ期シ全國一齊ニ國勢調査ヲ施行スベキ手筈ニ相成居候處國勢調査ニ於テハ現在人口ヲ調査スルノ關係上調査ノ時期ニ人口分布ノ常態ヲ保タシムルヲ可トスルノミナラズ調査ノ時期ニ一地方ニ人口ノ蝟集スルコトアラバ延テ調査ヲ阻害スルノ虞モ生ズベク殊ニ世運ノ進歩ニ伴ヒ調査毎ニ複雑化シツツアル社會事情ニ鑑ミルトキハ調査期日ノ前後ニ於テ博覽會、共進會、展覽會、各種ノ大會、總會ノ開催、團體旅行其ノ他國勢調査ニ際シ人口分布ノ常態ヲ激變スルガ如キ催ヲ企ツルコトハ成ルベク之ヲ避クルノ要有之ト認メラレ候條此ノ點ニ付何分ノ御配慮相煩度尙此ノ旨貴管下各廳ヘモ可然御示達相成度

追而調査ノ時期前後ニ簡閱點呼ノ執行アルトキハ獨リ人口分布ノ常態ヲ變ズルノ虞アルノミナラズ在郷軍人分會幹部ノ多クハ國勢調査員トシテ又市町村長

海軍公報 第二千三百七十六號

昭和十年一月二十八日

七三

其ノ他ノ吏員モ調査從事員トシテ共ニ調査事務ヲ擔當シ最モ多忙ヲ極ムルノ事情有之候條事情ノ許ス限リ此ノ時期ニ簡閱點呼ノ執行ヲ避ケラルル様御取計相願度

軍務二第二三號

昭和十年一月二十四日

海軍省軍務局長

吳鎮守府 參謀長殿  
第一、第二艦隊

外國船内地不開港場寄港ノ件通牒

外國船内地不開港場寄港出願ニ對シ今般左記ノ通免狀交付ノ旨通牒有之候

記

第一五三號

免狀

- 一 船名 秩父丸
- 一 國籍 英國
- 一 種類 發動機船
- 一 船主氏名及國籍 英國人セ、エス、ワデル
- 一 船長氏名及國籍 同上
- 一 噸數 約五噸

- 一 網具ノ裝置
- 一 橋ノ數
- 一 寄港ノ目的 娛樂
- 一 航路 兵庫縣ヨリ廣島縣ニ至ル各沿岸
- 一 寄港地名 兵庫縣

兵庫縣

西宮、住吉、須磨、舞子、明石、高砂、飾磨、網干、室津、坂越、尼ヶ崎、赤穂、岩屋、二見

岡山縣

牛窓、日比、下津井、黒崎、笠岡、眞鍋島、北木島、白石島、福島、神島、高島

香川縣

坂出、高松、多度津、栗島、丸龜

廣島縣

福山、鞆、大門、箕島

但シ軍港要港規則又ハ要塞地帶法ニ依リ禁止又ハ制限セラレタル地域ヲ除ク

右不開港場ニ寄港スルコトヲ特許ス

本免狀有効期間ハ昭和十年一月二十四日ヨリ昭和十一年一月二十三日迄トス但シ必要ノ節ハ同期間内ト雖其ノ寄港ヲ差止ムルコトアルヘシ

昭和十年一月二十四日

遞信大臣

(裏面)

航行心得

- 一、本船ハ帝國法令條約ヲ遵守スルハ勿論表面記載ノ各港ニ於テ警察規則及各種港則ヲ遵守スベシ
- 二、本免狀ハ何時タリトモ當該官吏ノ求メニ應ジ其ノ検査ヲ受クベシ
- 三、本船ハ本免狀記載ノ目的外ニ使用スベカラズ殊ニ表面記載ノ各港間ニ於テ貨物旅客ノ運搬ヲ爲スベカラズ
- 四、每航行ニ於ケル巡航日時ヲ豫定シ就航前本船所有者ノ住所ヲ管轄スル地方長官ニ届出ヅベシ巡航日時ヲ著シク變更シタルトキ亦同ジ
- 五、每航行ニ於ケル就航前本船船員及船員以外ノ乗船者ノ氏名、國籍、住所及職業ヲ前項ノ地方長官ニ届出ヅベシ
- 六、本免狀ニ記載セル船長ヲ變更セムトスルトキ又ハ船長以外ノ者ヲシテ其ノ職ヲ執ラシメムトスルトキハ豫メ第四項ノ地方長官ニ届出ヅベシ
- 七、瀬戸内海ノ航行ニ付テハ大阪府佐野ト兵庫縣洲

本、兵庫縣佛崎ト徳島縣栗田、愛媛縣長濱ト大分縣鶴崎、山口縣埴生ト福岡縣苅田ヲ結ブ線外ヲ航行スベカラズ

- 八、廣島縣及愛媛縣海面中三原西端、因ノ島、弓削島(以上東端)、伯方島、大三島、大崎上島、三角島、豊島、尾久比島、上黒島、小館場島、横島(以上南端)、大黒神島、小黒神島、小那沙美島、津久根島(以上西端)及五日市ヲ連ヌル線内ニ立入ルベカラズ
- 九、山口縣海面中膨良島南端、端島西端、保高島北端、小柱島、續島、特半島(以上東端)ヲ連ヌル線内、赤崎、大津島南端、洲島東端、仙島洲鼻ヲ連ヌル線及其ノ延長内並島田川、笠戸島火振崎、岩島南端、蛇島西端ヲ連ヌル線及其ノ延長内ニ立入ルベカラズ但シ徳山港域ハ此ノ限ニ在ラズ
- 一〇、本航行心得ニ違背スルトキハ直ニ特許ヲ取消スベシ
- 一一、特許期間満了ノトキ又ハ特許ヲ取消サレタルトキハ直ニ第四項ノ地方長官ヲ通ジ本免狀ヲ返納スベシ
- 一二、本船ハ出帆前地方廳ノ檢閲ヲ受クベシ又陸海軍

海軍公報 第二千三百七十六號

昭和十年一月二十八日

七五



ニ於テ必要ト認ムルトキハ隨時檢閲スルコトアル  
ベシ

○雜款

○事務所設置  
伊號第六十九潜水艦艇裝員事務所ヲ三菱重工業株式會社神戶造船所海軍監督官事務所内ニ設置シ本月二十三日ヨリ事務ヲ開始セリ

○特務艦青島行動豫定變更(年十二月十五日)  
(本欄参照)

地名	着	發
横須賀	一月二十八日	一月二十五日
吳	一月二十九日	二十八日
西戶崎	二月四日	三十一日
横須賀		

○郵便物發送先變更(年十二月五日)  
(本欄参照)

特務艦青島宛  
一月三十一日迄ニ到達見込ノモノハ 西戶崎  
共ノ後ハ 横須賀

豫備役海軍少將從四位勳三等功四級田尻敏郎昨二十七日卒去、明後三十日午後二時ヨリ同三時迄神奈川縣鎌倉町雪ノ下四〇三自宅ニ於テ神式ニ依リ告別式執行

○艦船所在

▲印△ハハシノ  
指定ヲ要セズ

○一月二十八日午前十時調

【横須賀】

日進▲陸奥、夕張、金剛、木曾、春日、

山口城、五十鈴、▷多摩、鳳翔、□鳥海、

高雄、摩耶、愛宕、▷赤城、▷那珂、比叡、

駒橋、▷淺間、八雲

矢風、澤風、□松風、春風、旗風、□響

雷、電、□漣、曉、狹霧、□沖風、峯風

伊五、伊四

富士▲、尻矢、大和

(鈴谷)

【長浦】▲嚴島

□潮、鵬、曙、□秋風、帆風、羽風、太刀風、

□朝霧、天霧、夕霧

呂五四、呂五五、呂五六、□呂五九、

呂五七、呂五八、□伊二三、伊二四、

□伊三、伊一、伊二

□掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五

【館山】 椿

【大湊】 大泊

【吳】 長門、矢矧、淀、韓崎、日向▲、加古、大井、

大鯨、▷伊勢、▷青葉、衣笠、古鷹、

▷神通、▷天龍、白鷹

谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、□夕顔、

菊、葵、□初雪、白雪、□薄雲、白雲、

叢雲、□綾波、敷波、浦波、□東雲、吹雪、

磯波

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、

呂五三、□呂二八、呂二七、□呂六三、

呂六四、呂六八、□伊二三、伊二一、

□伊五七、伊五六、伊五八、□伊五二、

伊五一、伊六八

掃七、掃八、掃九、掃一〇、□掃一三、

掃一四、掃一五、掃一六

石廊、攝津、朝日、青島

(最上)、(呂三三)

【神戶】 (有明)、(伊六)、(伊六九)、(伊七一)

【江田内】 平戸

【佐伯】 勝力、▷扶桑

【舞鶴】 吾妻▲、川内、鬼怒

□若竹、吳竹、早苗▲

呂二六

友鶴

(夕暮)

【佐世保】 加賀▲、妙高、那智、足柄、羽黑、磐手、

迅鯨、霧島、▷北上、常磐、▷長良、名取、

▷阿武隈、能登呂

梨、竹、榎、桃、柳、樅、檜、□夕月、

海軍公報 第二千三百七十六號 昭和十年一月二十八日

七七

菊月、望月、三日月、 睦月、如月、彌生、  
 卯月、 初霜、初春、子日、若葉、 長月、  
 水無月、皁月、文月、 疾風、追風、朝風、  
 夕風、朝風、 楡、柿  
 呂三、 呂二四、 呂二五、 呂二九、  
 呂三〇、 呂三一、 呂三二、 呂六〇、  
 呂六一、 呂六二、 呂六五、 呂六六、  
 呂六七、 伊六五、 伊六六、 伊六七  
 初雁、千鳥、真鶴  
 敷島、 早鞆、佐多、鶴見  
 (伊七〇)

【寺島水道】 龍驤  
 【長崎】(三隈)  
 【馬公】 汐風、灘風、島風、夕風  
 【基隆】 出雲  
 【鎮海】 葦、菱、葦  
 【旅順】 萩、薄、藤、 葛  
 【大連】 間宮  
 【青島】 芙蓉、朝顔、刈萱  
 【上海】 隅田、伏見、二見、比良  
 浦風、栗、梅

【南京】 宇治  
 【燕湖】 堅田  
 【九江】 保津  
 【漢口】 安宅、對馬

【長沙】 鳥羽  
 【宜昌】 勢多  
 【重慶】 熱海  
 【馬尾】 龍田  
 蓬

【廈門】 蓼  
 【汕頭】 蓮  
 【廣東】 嵯峨  
 【作業地】 由良、長鯨、神威、 八重山  
 沼風、神風、野風、波風  
 伊五四、 伊五三、 伊五五、 伊六〇、  
 伊五九、 伊六三、 伊六二、 伊六一、  
 伊六四  
 膠州

【航海中】  
 襟裳 (十二日羅府發—吳へ)  
 鳴戸 (十五日「ホノルル」發—横須賀へ)  
 隱戸 (三十一日「ホノルル」發—横須賀へ)  
 野島 (二十六日上海發—佐世保へ)  
 洲崎 (二十六日徳山發—横須賀へ)  
 球磨 (二十七日青島發—基隆へ)  
 室戸 (二十七日大湊發—横須賀へ)  
 榛名 (二十八日橋灣發—佐世保へ)  
 知床 (二十八日佐世保發—吳へ)

(部内限一頁)

# ◎新刊豫約會告

英國 海軍大將ベークン氏著  
日本 海軍中將中島資朋譯

英國海軍元帥ロードフィッシャー傳 (洋装全一冊、約六百五十頁、寫眞三十數葉)

右左記要領に依り豫約を募集す、趣意書御熟讀の上多數の應募を望む

一、豫約締切期日 昭和十年二月六日(各部にて成るべく取纏め申込まれたし)

二、實費 金三圓五十錢位

三、發行豫定四月上旬 但し豫約部所要數に充たざるときは之を取止め、「有終」誌上に其の旨發表す

フィッシャー元帥は英國海軍に於けるネルソン以後第一の人傑にして、夫子亦自ら之を以て任じたる者、身を微賤より起して終に海軍最高の榮位に上りたるのみならず、六十餘年の海軍公生涯中異常なる精力鬼才を發揮し、縱横活躍、上は皇帝の信任を博し、下は國民の倚賴を享け、英國海軍をして世界獨歩のものたらしめ、實に獨のテルピッ提督と共に相並びて世界大戦争の大立物となりし人物、其の政治的經路は我山本(權兵衛)大將に類し其の至誠奉公は我伊集院元帥に似たるものあるを想はしむ。

今や元帥歿して爰に十有五年、先年ベークン大將、元帥遺族の請によりて公の詳傳二卷を著はして世に傳ふ。譯者は三十四年前、伊集院元帥に従つて渡歐、日本海軍士官としてフィッシャー元帥に親炙せる者なるを以て、傳成るや直ちに之を購ひ譯して篋底に蔵むるもの四年に及び、而して近時の狀態を見て同元帥の經歴行藏、各人の參考に資すべきもの多々あるを感じ、其の刊行を本會に謀る、依つて印刷を以て騰寫に代へ部内有志に煩たんとす。

昭和十年一月

東京市芝區榮町十三番地

財團法人 海軍有終會

(電話芝一、四五七)

1823

1824

# 海軍公報

第二千三百七十七號

海軍大臣官房

昭和十年一月二十九日(火)

## ○雜款

○郵便物發送先  
軍艦殿島宛  
自今

浦賀

○考試問題發送  
第二期高等科學生採用考試問題(考試期日二月十七、十八日)本月二十一日發送濟  
(海軍工機學校)

海軍公報 第二千三百七十七號 昭和十年一月二十九日

七九

○艦船所在

▲印ハコハホレ  
指定ヲ要セズ

○一月二十九日午前十時調

【横須賀】

日進▲陸奥、夕張、金剛、木曾、春日、  
尸山城、五十鈴、▷多摩、鳳翔、尸鳥海、  
高雄、摩耶、愛宕、▷赤城、▷那珂、比叡、

▷浅間、八雲

矢風、澤風、尸松風、春風、旗風、尸響、

雷、電、尸漣、曉、狭霧、尸沖風、峯風、

尸伊五、伊四

富士▲、尻矢、大和、洲崎

(鈴谷)

【長浦】

尸潮、臘、曙、尸秋風、帆風、羽風、太刀風、  
尸朝霧、天霧、夕霧

呂五四、呂五五、呂五六、尸呂五九、  
呂五七、呂五八、尸伊二三、伊二四、

尸伊三、伊一、伊二

尸掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五

【浦賀】

▷巖島

【館山】

椿

【大湊】

大泊

【吳】

長門、矢矧、淀、韓崎、日向▲、加古、大井、  
大跡、▷青葉、衣笠、古鷹、▷神通、  
▷天龍、白鷹

谷風、天津風、時津風、磯風、浪風、尸夕顔、  
菊、葵、尸初雪、白雪、尸薄雲、白雲、  
叢雲、尸綾波、敷波、浦波、尸東雲、吹雪、  
磯波

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、

呂五三、尸呂二八、呂二七、尸呂六三、

呂六四、呂六八、尸伊三三、伊二一、

尸伊五七、伊五六、伊五八、尸伊五二、

伊五一、伊六八

掃七、掃八、掃九、掃一〇、尸掃一三、

掃一四、掃一五、掃一六

石廊、攝津、朝日

(最上)、(呂三三)

【神戶】(有明)、(伊六)、(伊六九)、(伊七一)

【江田内】

平戸

【藤生沖】

▷伊勢

吾妻▲、川内、鬼怒

若竹、吳竹、早苗▲

呂二六

友鶴

【佐世保】

(夕暮)

加賀▲、妙高、那智、足柄、羽黒、磐手、  
迅鯨、霧島、▷北上、常磐、榛名、▷長良、  
名取、▷阿武隈、能登呂

梨、竹、榎、桃、柳、櫻、檜、尸夕月、

寺島水道】龍驤  
 長崎】(三隈)  
 馬公】沙風、灘風、島風  
 基隆】出雲  
 高雄】夕風  
 鎮海】葦、菱、葦  
 旅順】萩、薄、藤、葛  
 大連】間宮  
 青島】芙蓉、朝顔、刈萱  
 上海】陽田、伏見、二見、比良  
 浦風、栗、梅  
 南京】宇治  
 燕湖】堅田  
 九江】保津

菊月、望月、三日月、陸月、如月、彌生、  
 卯月、初霜、初春、子日、若葉、長月、  
 水無月、皁月、文月、疾風、追風、朝風、  
 夕風、朝風、楡、柿  
 呂三三、呂二四、呂二五、呂二九、  
 呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、  
 呂六一、呂六二、呂六五、呂六六、  
 呂六七、伊六五、伊六六、伊六七  
 初雁、千鳥、真鶴  
 敷島、早鞆、佐多、鶴見、野島  
 (伊七〇)

漢口】安宅、對馬  
 長沙】鳥羽  
 宜昌】勢多  
 重慶】熱海  
 馬尾】龍田  
 厦門】蓬  
 汕頭】蓮  
 廣東】嵯峨  
 作業地】由良、長鯨、神威、八重山  
 沼風、神風、野風、波風  
 伊五四、伊五三、伊五五、伊六〇、  
 伊五九、伊六三、伊六二、伊六一、  
 伊六四、膠州

【航海中】  
 襟裳 (十二日羅府發—吳へ)  
 鳴戸 (十五日「ホノルル」發—横須賀へ)  
 隱戸 (二十一日「ホノルル」發—横須賀へ)  
 球磨 (二十七日青島發—基隆へ)  
 室戸 (二十七日大湊發—横須賀へ)  
 勝力 (二十八日佐伯發—吳へ)  
 駒橋 (二十八日横須賀發—作業地へ)  
 知床 (二十八日佐世保發—吳へ)  
 青島 (二十八日吳發—西戶崎へ)  
 扶桑 (二十九日佐伯發—吳へ)

(部内限二頁)

# 海軍公報

第二千三百七十八號

海軍大臣官房

昭和十年一月三十日(水)

## ○令達

官房第三八七號

大正六年官房第一一五一號別表中左ノ通改正ス

昭和十年一月三十日

海軍大臣

潜水隊司令ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

水雷隊司令

三〇〇〇〇 在役中ニ限ル

(參照) 大正六年官房第一一五一號ハ司令長官以下ニ於テ要スル接待費定額ノ件ナリ  
(會計法規類集上卷一一四ノ五頁)

## ○通牒

官房第三八八號

昭和十年一月三十日

海軍次官

關係所屬長官殿

滿洲國建國功勞章ノ受領及佩用願出ニ關スル件通牒

昭和六年九月十八日以降滿洲國建設ノ事業ニ盡瘁セル我ガ海軍軍人軍屬ニ對シ同國政府ヨリ建國功勞章贈與ノコトニ相成候ニ付テハ右受領及佩用ノ件ニ關シテハ現行ノ外國勳章佩用願規則ニ準據シ取扱ハルベキ管ノ處首題ノ件ニ關シ特ニ便法トシテ左記ノ如ク決定相成候條贈與ノ上ハ逐次取纏メ具申相成様致度依命

(左記)

様式第一(用紙美濃野和紙)

昭和 年 月 日

所屬長官爵氏 名印

海軍大臣爵氏 名殿

滿洲國建國功勞章受領及佩用願出ニ

關スル件具申

別紙名簿ノ者ハ滿洲國皇帝陛下ヨリ今般建國功勞章ヲ贈與セラレ何レモ其ノ受領及佩用ノ希望ヲ以テ捺印ノ



上申出候ニ付可然取計相成度

(別紙關係書類添)

様式第二(用紙美濃野和紙)

證明書

別紙名簿ノ海軍官氏名外何名ハ今般滿洲國皇帝陛下ヨリ建國功勞章ヲ贈與セラレタルコトヲ證明ス

昭和 年 月 日

所屬長官爵氏 名印

様式第三(用紙美濃野和紙)

滿洲國建國功勞章被贈與者名簿 第何回(所屬名)

番號	官等	位	勳	功	爵	氏名
1	海軍中將	從四	二	四		何某
2	海軍機關大佐	從五	三			同
3	海軍大尉	從六	五	五		同
4	海軍一等主計兵曹		七	七		同
5	海軍軍醫少佐	從六	四			同
6	海軍技師	從六	四			同
7	海軍教授	正七				同
8	海軍二等兵曹					同
9	海軍大佐	從五	三			同
10	海軍主計中佐	從四	五		子爵	同
11	海軍特務中尉	正七	五	七		同
12	海軍一等看護兵曹		七	七		同
13	海軍機關大尉	正七				同
14	海軍書記		七			同
15	海軍造兵中佐	正六	六			同
16	海軍三等航空兵曹		七	七		同
計 何 名						

様式第四(用紙美濃白紙全葉)

外國記章受領及佩用願

今般滿洲國皇帝陛下ヨリ同建國功勞章贈與相成候ニ

姓名儀

四分△：一寸七分：△五分▽△四分▽△四分▽△：二寸：▽

付受領及佩用ノ儀御允許被成下度此段奉願候也

昭和 年 月 日

官位勳功爵氏 名印

賞勳局總裁 下條康磨殿

注意

- 一、本件具申ニ當リテハ現行佩用願規定ニ依リ供閱物件目録、功勞章、同證狀及贈與ノ事由書等ノ添付ヲ要セズ
- 二、具申書ハ正副二通、名簿ハ五通トシ正本ニハ名簿四通、證明書及佩用願各一通ヲ添へ、副本ニハ名簿一通ノミ添へ同時ニ提出ノコト
- 三、名簿ノ調製ハ記章ヲ交付シタル部隊官衙ヲ所管スル地方官衙ニ要港部又ハ艦隊ノ官衙等ニテ爲スコト
- 四、官位勳功爵氏名ハ書類具申當時ノモノヲ記載シ爾後ノ身分異動ニ關シテハ速ニ報告ノコト
- 五、名簿中元海軍教授又ハ元海軍一等看護兵曹トアルハ既ニ退官シ又ハ疾病其ノ他ニ依ル免官者等ノ例ヲ示ス
- 六、第二回書類具申後逐次書類具申ニ當リ人名ノ頭書番號ハ總テ前回書類ニ引續キ(假令ハ様式名簿ノ

末尾16ナルニヨリ次回ハ17トスルカ如シ)將來ノ報告、照會、回答ニ際シテハ必ず第何回具申第何號何某ト記載シ取扱上ニ便セシムルコト

七、具申書、證明書、贈與名簿、佩用願等總テ當方ノ關係書類ト共ニ上覽ニ供フベキモノニ付謄寫版又ハ複寫紙ヲ用キ差支ナキモ體裁ヲ考慮シ粗雜ニ陥ラザル様留意ノコト

八、將來滿洲國ヨリ是等ニ類スル記章多數贈與アリタル場合ハ本取扱ニ準ジ差支ナキコト

海人第一號ノ八

昭和十年一月三十日

海軍省人事局長

關係所轄長殿

滿洲國建國功勞章ノ受領及佩用願出ニ

關スル件通牒

首題ノ件ニ關シ一月三十日官房第三八八號ヲ以テ通牒相成候處既ニ同國政府ヨリ贈與相成居候向ニ對スル佩用願等ハ便宜現所轄長ニテ取纏メ調製提出相成度此ノ場合ニ於テハ様式第一ノ提出者ハ所轄長、宛名ハ海軍省人事局長トシ様式第二ノ奥書ハ所轄長トセラレ度

海軍公報 第二千三百七十八號 昭和十年一月三十日

海軍公報 第二千三百七十八號 昭和十年一月三十日

八六

尙本佩用願ハ總テ昭和九年三月一日ト記載シ身分等モ其ノ當時ノモノヲ記載セラレ度爲念申添候

○ 雜 款

○ 出發

歐米各國出張	海軍中佐 山澄貞次郎	三十一日 東京發	大洋丸
海軍機關中佐 御子柴隼人	同	日 橫濱發	

○艦船所在

▲印ハハハハ  
指定ヲ要セズ

○一月三十日午前十時調

【横須賀】

日進▲、陸奥、夕張、金剛、木曾、春日、

山口城、五十鈴、▷多摩、鳳翔、口鳥海、

高雄、摩耶、愛宕、▷赤城、▷那珂、比叡、

▷淺間、八雲

矢風、澤風、口松風、春風、旗風、口響

雷、電、口漣、曉、狹霧、口沖風、峯風

口伊五、伊四

富士▲、尻矢、大和、洲埼

(鈴谷)

【長浦】

口潮、臘、曙、口秋風、帆風、羽風、太刀風、

口朝霧、天霧、夕霧

呂五四、呂五五、呂五六、口呂五九、

呂五七、呂五八、口伊二三、伊二四、

口伊三、伊一、伊二

掃一、掃三

【浦賀】

殿島

【館山】

椿

▷掃六、掃二、掃四、掃五

【大湊】

大泊

長門、矢矧、淀、韓崎、日向▲、加古、大井、

大鯨、▷伊勢、扶桑、▷青葉、衣笠、古鷹、

【神通】

▷神通、▷天龍、白鷹、勝力

谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、口夕顔、

菊、葵、口初雪、白雪、口薄雲、白雲、

叢雲、口綾波、敷波、浦波、口東雲、吹雪、

磯波

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、

呂五三、口呂二八、呂二七、口呂六三、

呂六四、呂六八、口伊二二、伊二一、

口伊五七、伊五六、伊五八、口伊五二、

伊五一、伊六八

掃七、掃八、掃一〇、口掃二三、掃一四、

掃一五、掃一六

【神戶】

(有明)、(伊六)、(伊六九)、(伊七一)

【江田内】

平戸

【舞鶴】

吾妻▲、川内、鬼怒

口若竹、吳竹、早苗

呂二六

友鶴

【佐世保】

(夕暮)

加賀▲、妙高、那智、足柄、羽黒、磐手、

迅鯨、霧島、▷北上、常磐、榛名、▷長良、

名取、▷阿武隈、能登呂

梨、竹、榎、桃、柳、櫻、檜、口夕月、

【西戸崎】野島、青島  
 【寺島水道】龍驤  
 【長崎】(三隈)  
 【馬公】沙風、灘風、島風  
 【基隆】出雲  
 【鎮海】董、菱、葦  
 【旅順】萩、薄、藤▲、葛▲  
 【大連】間宮  
 【青島】芙蓉、朝顔、刈萱  
 【上海】隅田、伏見、二見、比良  
 浦風、栗、榊  
 【南京】宇治  
 【蕪湖】堅田  
 【九江】保津

菊月、望月、三日月、□睦月、如月、彌生、  
 卯月、□初霜、初春、子日、若葉、□長月、  
 水無月、皁月、文月、□疾風、追風、朝風、  
 夕風、朝風、□榆、柿  
 呂二三、呂二四、呂二五、呂二九、  
 呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、  
 呂六一、呂六二、□呂六五、呂六六、  
 呂六七、□伊六五、伊六六、伊六七  
 □初雁、千鳥、真鶴  
 敷島▲、早鞆、佐多、鶴見  
 (伊七〇)

【漢口】安宅、對馬  
 【長沙】鳥羽  
 【宜昌】勢多  
 【重慶】熱海  
 【馬尾】龍田  
 【廈門】蓬  
 【汕頭】蓮  
 【廣東】嵯峨  
 【作業地】由良、長鯨、神威、八重山  
 □沼風、神風、野風、波風  
 □伊五四、伊五三、伊五五、□伊六〇、  
 伊五九、伊六三、□伊六二、伊六一、  
 伊六四  
 膠州

【航海中】  
 襟裳 (十二日羅府發—吳へ)  
 鳴戸 (十五日「ホノルル」發—橫須賀へ)  
 隱戸 (二十一日「ホノルル」發—橫須賀へ)  
 球磨 (二十七日青島發—基隆へ)  
 室戸 (二十七日大湊發—橫須賀へ)  
 駒橋 (二十八日橫須賀發—作業地へ)  
 夕風 (二十九日高雄發)  
 掃九 (三十日吳發—佐伯へ)

(部内限ナシ)

1833

# 海軍公報

第二千三百七十九號

海軍大臣官房

昭和十年一月三十一日(木)

## ○雜款

○郵便物發送先

第十六驅逐隊(芙蓉、朝顔、刈萱)宛  
當分ノ間 門司郵便局氣付(軍艦郵便)

○事務所移轉

第二十八潜水隊事務所ハ本月二十一日軍艦長鯨内ニ移  
轉セリ

退役海軍軍醫中將正四位勳一等戸祭文造昨三十日  
卒去、明後二日午後一時ヨリ同二時迄東京市澁谷  
區代々木富ヶ谷町一五一〇自宅(小田急代々木八  
幡驛下車南方へ約五町)ニ於テ佛式ニ依リ告別式  
執行

海軍公報 第二千三百七十九號 昭和十年一月三十一日

八九

○艦船所在

▲印ハハホレ  
指定ヲ要セズ

○一月三十一日午前十時調

【横須賀】

日進▲、陸奥、夕張、金剛、木曾、春日、

山口城、五十鈴、▷多摩、鳳翔、口鳥海、

高雄、摩耶、愛宕、▷赤城、▷那珂、比叡、

▷浅間、八雲

矢風、澤風、帆風、▷松風、春風、旗風、

▷響、雷、電、▷漣、曉、狭霧、▷沖風、峯風、

▷伊五、伊四

富士▲、尻矢、大和、洲崎、室戸

(鈴谷)

【長浦】

▷湖、朧、曙、▷秋風、羽風、太刀風、

▷朝霧、天霧、夕霧

呂五四、呂五五、呂五六、▷呂五九、

呂五七、呂五八、▷伊二三、伊二四、

▷伊三、伊一、伊二

掃一、掃三

嚴島

【浦賀】

嚴島

【館山】

椿

【青森】

大泊

【吳】

長門、矢矧、淀、韓崎、日向▲、加古、大井、

大鯨、▷伊勢、扶桑、▷青葉、衣笠、古鷹、

▷神通、▷天龍、白鷹、勝力

谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、▷夕顔、

菊、葵、▷初雪、白雪、▷薄雲、白雲、

叢雲、▷綾波、敷波、浦波、▷東雲、吹雪、

磯波

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、

呂五三、▷呂二八、呂二七、▷呂六三、

呂六四、呂六八、▷伊三二、伊二一、

▷伊五七、伊五六、伊五八、▷伊五二、

伊五一、伊六八

掃七、掃八、掃一〇、▷掃二三、掃一四、

掃一五、掃一六

石廊、攝津、朝日

(最上)、(呂三三)

(有明)、(伊六)、(伊六九)、(伊七一)

平戸

知床

吾妻▲、川内、鬼怒

▷若竹、吳竹、早苗▲

友鶴

呂二六

(夕暮)

加賀▲、妙高、那智、足柄、羽黒、磐手、

迅鯨、霧島、▷北上、常磐、榛名、▷長良、

名取、▷阿武隈、▷龍驤、能登呂

梨、竹、榎、桃、柳、櫻、檜、▷夕月、

海軍公報 第二千三百七十九號 昭和十年一月三十一日

<p>【西戸崎】野鳥、青島          【長崎】(三隈)          【基隆】出雲、球磨          【鎮海】董、菱、葦          【旅順】菘、藤、葛          【大連】問宮          【青島】芙蓉、朝顔、刈萱          【上海】隅田、伏見、二見、比良          浦風、栗、梅</p>	<p>菊月、望月、三日月、陸月、如月、彌生、卯月、初霜、初春、子日、若葉、長月、水無月、皐月、文月、疾風、追風、朝風、夕風、朝風、楡、柿          呂二三、呂二四、呂二五、呂二九、呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、呂六一、呂六二、呂六五、呂六六、呂六七、伊六五、伊六六、伊六七          初雁、千鳥、真鶴          敷島、早鞆、佐多、鶴見          (伊七〇)</p>
<p>【漢口】安宅、對馬          【九江】保津          【燕湖】壁田          【南京】宇治          【長沙】鳥羽</p>	<p>【宜昌】勢多          【重慶】熱海          【馬尾】龍田          蓬          【厦門】島風、夕風          【厦門港外】遼          【汕頭】遼          【廣東】嶺巖          由良、長鯨、神威、八重山、駒橋          沼風、神風、野風、波風          伊五四、伊五三、伊五五、伊六〇、伊五九、伊六三、伊六二、伊六一、伊六四          膠州</p>
<p>【航海中】          襟裳 (十二日羅府發一吳)          鳴戸 (十五日、ホノルル發一横須賀)          隠戸 (二十一日、ホノルル發一横須賀)          汐風、灘風 (三十日馬公發一油頭)          掃九 (三十日吳發一佐伯)          掃六、掃二、掃四、掃五 (三十一日湊沖發一長浦)</p>	

(部内限ナシ)